



10月 ことりグループだより

2022.10.1

いっしょだから

うんどうあそびの日は暑い中、参加してくださりありがとうございました。また、テントの準備や片付けなどのお手伝い、コロナ感染予防にもご協力頂き、ありがとうございました。

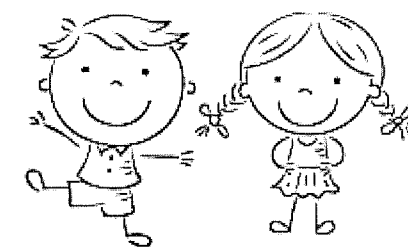
うんどうあそびの日は、ドキドキと緊張する姿もありましたが、お相手さん、お友達と一緒に過ごす自然に笑顔になって楽しむ姿がありました。グループでは、ことりグループのお友だちが好きな「はらぺこあおむし」であそび、楽しみました。子どもたちと「どうあそぼうか」「あおむしさん何が好きかな」「どうやって食べるかな」とあそびを一緒に考えていきました。ゆりさんがこうしたい！と思いを言葉にして伝えてくれると、その姿を見て、さくらさんも考えていることを言葉にして伝えてくれました。ばらさんも去年うんどうあそびを経験していることもあり、ゆりさんと一緒にさくらさんのことを見てくれていました。ホールで何度かあそんだあと、実際にグラウンドであそぶと、ホールの時とは違って、いつもと違う広い場所ということで、緊張してしまう様子がありましたが、あそび経験を繰り返すと、お相手さんが近くにいてくれる安心があるからこそ、にこにこ笑顔で「いちに、いちに、ごーごーごー♪」と口ずさんで歌いながら体を動かして楽しめるようになりました。困っていたら、手を差し伸べる姿、緊張していても安心するお相手さんがいるからこそ頑張れる姿、と縦割りならではの様子がたくさん見られました。子どもたちが楽しんでるはらぺこあおむし。今後も造形あそびや集団あそびなど、子どもたちと一緒に楽しんであそんでいきたいと思えます。

うんどうあそびの日 楽しかったね！

ゆりさんは、八瀬のお泊り保育で魔女さんからもらったまほうのつえを使って色々なあそびをしてきました。また、個人縄跳びで10回飛ぶことも見てもらいたいと練習してきました。うんどうあそびの日は、「お父さん・お母さんにかっこいいところを見てもらいたい」という言葉が子ども達から出ました。実際、浅原公園でうんどうあそびの日の練習がはじまると自分のすることが終わるとお友達と話したり、砂遊びをする姿がありました。リズムに合わせ、つえを飛ぶ時にも、お友達とリズムが合わせられない子どももいました。子ども達に「かっこいいところを見てもらうのは、どうすることなのかな？」と尋ねると、「自分が終わってもしゃべらない・砂遊びをしない」という意見が出ました。ゆりさんみんなでうんどうあそびの日をするのは最後になることやみんなで心を合わせてかっこいいゆりさんを見てもらおうと話しました。雨天の為、浅原公園で練習できないときや夕方、ホールで何度もゆりのあそびを練習しました。リズムに合わせて、つえを飛ぶことができるようになったお友達は、「上手に飛べるようになってきた」と嬉しそうに話してくれました。縄跳びが苦手なお友達はお父さん・お母さんと一緒に練習してもらうことで飛ぶ回数が増えてきました。うんどうあそびの日を通して、自分だけが頑張るのではなく、お友達と心を合わせて取り組むことやお友達の頑張っている姿も一緒に応援していくことでゆりさんみんなが出来たという達成感を感じてくれたと思えます。また、苦手なこともお父さん・お母さんが一緒に取り組んでもらい、練習することでできるようになることを実感し、自信につながれたと思えます。

お相手さんがかわるよ！

今月は、ばらさんのお友だちのグループ替えがあります。ばらさんがグループが変わることで、さくら・ゆりのお相手さんも変わるところがあります。今まで一緒に過ごしてきたお相手さんが変わること、少し寂しい思いをするお友だちもいるかと思いますが、子どもたちの気持ちの変化を見ながら新しい環境、それぞれのグループのあそびを楽しめるように関わっていきたくと思っています。



おねがい

- ・散歩に出かける機会が多くなります。
- ・登園は、9:00までに朝の準備が終わるようにお願いします。
- ・涼しくなっていますが、部屋の中では体を動かすことも多く体温が上がりますので、厚着にならないようにしてください。ズボンは、半ズボンでお願いします。
(裏起毛やフリースの服やズボンは、さけてください。)